

[様式1] 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月6日		記入者	宮崎信広	連絡先	5235
平成18年度部名	生涯学習部		課名	スポーツ課	課長名	安本喜忠
平成19年度部名	生涯学習部		課名	スポーツ課	課長名	西原 巧
事務事業名	スポーツ振興事業					
予算上の事務事業名	地域スポーツクラブ育成事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	15210		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります					
基本施策名	第2節 生涯スポーツ・レクリエーションの振興					
施策名	第1施策 スポーツ・レクリエーション活動の促進					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
スポーツ振興法						
3 個別計画の概要			概要			
計画名	スポーツ振興計画～地域スポーツ活性化プラン～			相模原市スポーツ振興計画に基づき、成人のスポーツ実施率の向上のため、地域主導型の総合型地域スポーツクラブの活動を推進する。		
計画年次	16	年度～	25	年度		
4 事業形態の区分			助成(給付・補助・貸付)	5 事業開始年度		平成16年度
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」スポーツを楽しむ社会を実現するために、その地域に住む市民が主役となって、自ら運営・管理をする新しい形のスポーツクラブであり、スポーツ実施率向上を目的とする。				市民		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
平成18年度執行済額;1,746千円						
①「地域スポーツクラブモデル事業」						
やんちゃるジム…平成18年8月3・4日親子体操幼稚園デモンストレーション(相模翠ヶ丘幼稚園ホール)参加者30人、平成18年10月9日スポーツフェスティバルへ参加しクラブの紹介(横山公園陸上競技場)参加者300人、平成19年2月24日総合型地域スポーツクラブ紹介(東林公民館)参加者300人、その他各地区にてクラブの啓発活動など						
大沢フットボールクラブ…平成18年4月23日地域交流事業サッカーフェスティバル開催(大沢小学校校庭)参加者100人、平成18年7月8日女子サッカー普及事業開催(大沢小学校校庭)参加者50人、平成18年10月9日スポーツフェスティバルへ参加しクラブの紹介(横山公園陸上競技場)参加者1500人、その他地元地域を中心に各地区にてクラブの啓発活動など(18年度参加者合計4853人)						
②「相模原市総合型地域スポーツクラブ」PRイベント〔平成19年2月24日各会場にて実施・参加者390人〕						
参加クラブと内容;大沢FC(バドミントンとビーチボールの教室)、NPO法人相模原FC(元Jリーガーによるサッカー教室)、SRC(腰痛・肩こり解消教室)、スポレク相模台JOIJOY(ペタンク体験とグラウンドゴルフ体験)、やんちゃるジム(親子体験教室と講演会)NPO法人SSC(ジュニアバスケットボール教室とテーピング講習会)						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
神奈川県内での総合型地域スポーツクラブの活動数に関しては、横浜市12団体・川崎市5団体・横須賀市1団体・平塚市2団体・鎌倉市2団体・藤沢市1団体・小田原市1団体・逗子市1団体・寒川町2団体・清川村1団体・相模原市7団体の合計35団体が活動をしている。(平成18年2月1日現在の県立体育センター資料参照)						
8 事業費の推移 [単位:千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	464	966	1,746	1,080	1,080	
一般財源	464	966	1,746	1,080	1,080	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	4,009	4,009	4,009	4,009	4,009	
事業コスト合計	4,473	4,975	5,755	5,089	5,089	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名(主たる事業名)	総合型地域スポーツクラブ推進事業			対象名称と単位	事業の実施回数	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	4,473	4,975	5,755	5,089	5,089	
対象数	2	2	3	1	1	
単位あたり経費(円)	2,236,500	2,487,500	1,918,333	5,089,000	5,089,000	
前年度比		1.11	0.77	2.65	1.00	
10 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの						

指標名と単位	事業実施数(回)	指標式と指標の説明	事業の実施回数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	26.0	19.0	24.0		
目標	26.0	19.0	24.0	1.0	1.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
1.1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	事業参加者数(人)	指標式と指標の説明	事業1回あたりの参加者数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	13.7	118.5	244.7		
目標	20.0	140.0	275.0	780.0	780.0
目標達成度(%)	68.5	84.6	89.0		
1.2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1.3 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]	: 良好な状態を維持する事業			
	[★★★★]	: 概ね良好な状況である事業			
	[★★★]	: 見直しを行う必要がある事業			
	[★★]	: 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価(今後の方向性)			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実	当事業は、相模原市スポーツ振興計画の「生涯スポーツ社会の実現に向けた、地域におけるスポーツ環境の整備」とした目標達成に貢献している。		
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1.4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1.5 課題として認識されたこと		
異なる年齢や経験を持った市民のネットワークをおおいに活用し、また、スポーツ活動に関わりたいと感じている市民や参加に戸惑っている市民の意欲を活かし、地域住民のアイディアを持ち寄った運営のもと、クラブの特色や多様な種目をイベントの開催やチラシの配布など、各媒体によりPRしクラブの活動の現状を広めることが必要と考えている。			身近な地域活動が盛んになればなるほど、その現状に比例し活動拠点としての優先的な場所の確保が求められる。行政のバックアップという視点からの考え方や活動当事者の求める要望とに差異が感じられる。		
1.6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			